



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当:上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-526-5111 (内線1406) FAX.025-526-6114

ホームページ⇒

ふるさと上越



春は、もうそこまで来ています!

「たより」No.277 目次

会員数とふるさと市場報告	1
Jネットの活動とお知らせ	2
とれたて上越	3
・上越の行事・展示会	
いにしえ上越	4
上杉謙信公と鮫ヶ尾城	妙高市教育委員会 佐藤 慎
鯉橋師匠高座予定	6
上越産品販売のお知らせ	6
会員ひろば	6
雁木は私のふるさと	清水 史枝
高田に住んで 30 年	富田 晃
Jネットからのお知らせとお願い	8

※ホームページ
「ふるさと上越ネットワーク」では、
「たより」を全ページカラーでご覧
いただけます。

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は現在 598 名です。(令和 3 年度目標 610 名)

(2) 「ふるさと市場」(1 月合計) の販売取次状況 35 点 57,846 円 (前年同月 54 件 76,399 円)

1. 令和4年2月10日（木）にサロン開催

次回は、令和4年3月10日（木）、その次は4月14日（木）。ぜひご参加下さい。

コロナ変異株感染の高止まりの中、2月のサロンが、オンラインで、10日（木）17時15分より始まりました。

初参加はお二人。グラスを片手に、ふるさとや近況を語り、今年の雪や3回目のワクチン接種などが話題となりました。加えて、初参加のSさんからは「全国140万人の中学生以上の全陸上選手のデータ化の完成」、桑名から出席されたKさんからも「高田藩と桑名藩」の話があり、大いに盛り上がりました。



2月10日 運営委員会とオンラインサロンへ参加のみなさん

【次回以降のサロン】

サロンは、毎月第2木曜日に開催、全国どこからでも参加でき、アルコール片手に、中座も自由、勝手なことを勝手に言える集まりです。ぜひご参加下さい。

次回：令和4年3月10日（木）、4月14日（木）。いずれも17：15－19：00。

（オンラインにて開催）。お申込み：事務局宮里 k.miyazato@araipt.co.jp まで。URLをお届けします。
ご参加は超簡単、届いたURL クリック2回で参加できます。未体験者には、事前に操作方法もお手伝いしますのでお気軽にご参加ください。

【実際のサロンの再開】

リアル会合サロンの再開につきましては、「たより」、HP（ホームページ）でのお知らせをご覧ください。事務局にお問合せください。

2. 春の交流会は秋以降へ延期

前号でもお伝えしましたが、コロナ禍のため、恒例の「春の交流会」は、オミクロン株が猛威を振っている現状に鑑み、本年も、お花見の4月での開催は取り止め、秋以降での開催とします。残念ですが、ご了承ください。「たより」、HP（ホームページ）でのお知らせをご覧ください。事務局にお問合せください。

3. 当会創立25周年「たより」特別号への寄稿のお願い

当会は1997年7月30日に創立、本年は、創立25周年を迎えます。その記念事業として「たより」特別号を発行します。会員の皆様にも、「会とご自身のこと、上越について思い出や想いなど」をふるってご寄稿いただきますよう、お願いいたします。寄稿の要領の詳細は、同封の「25周年記念号へのご寄稿のお願い」をご覧ください。

4. いま旬のホームページ（HP）をご覧ください。

おかげさまで、Jネット HP の閲覧は、国内、海外を合わせて大きく増えております。内容も、上越市の風景の写真他、次のように掲載は多様です。ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。

- ・お知らせ：上越関連 TV 放映や、上越産品販売のマルシェと雪國商店などの話題。
- ・チャレンジ上越、とれたて・なんでも上越：「たより」掲載の上越記事など。
- ・「たより」：全頁カラーで過去 2 年分を掲載。・フォトギャラリー：上越の四季の写真多数。
- ・他HPへのリンク：上越市、上越観光ナビ、当会特別賛助会員 7 社のHP。

Jネット会員は、上越タイムス電子版ならびに上越ケーブルビジョン（JCV）の動画を閲覧できます。上越妙高エリアの今をお楽しみください。

◎上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法（会員のみ）

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のID・メールアドレス・PSWにてログインしてください



「上越タイムス全頁を閲覧する場合は、同紙面から、PDFをクリックしてください。」

とれたて上越

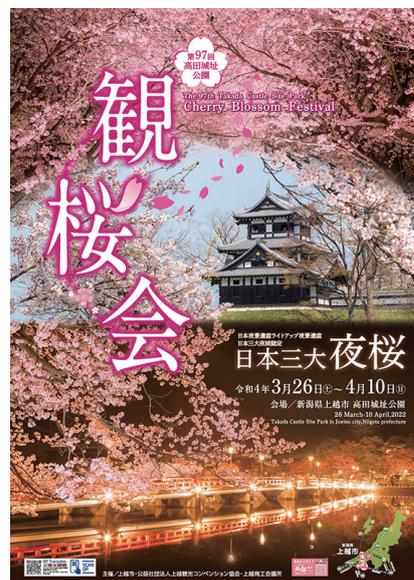
1. 上越の行事・展示会

(1) 第 97 回高田城址公園観桜会

2022 年の開催は、
3 月 26 日（土）～ 4 月 10 日（日）の 16 日間。

1926 年の第 1 回以来、初めての 3 月開催です。開催内容の詳細は今後に発表。公園の広大な内堀と外堀とその周辺に約 4000 本の桜が咲き、約 3000 個のぼんぼりに照らされ映える美しさは、「日本夜景遺産ライトアップ夜景遺産」に認定され、上野恩賜公園や弘前城公園とともに日本三大夜桜の一つとされています。

高田城址公園も「日本三大夜城」に認定され、「さくら名所 100 選の地」や「日本の歴史公園 100 選」に選定されています。



(2) 令和3年度特集展示4「100年前の未明小説」

小川未明文学館

2月1日（火曜日）から4月20日（水曜日）まで

小川未明文学館では、令和3年度の特集展示の第4回として、小川未明が100年前の大正10年（1921年）頃に発表した小説を資料で紹介しています。観桜会の際に寄ってみたいはいかがでしょうか？

小川未明文学館：上越市本城町8-30 高田図書館内

開館時間：10月～5月 10:00～19:00 毎週月曜日休館。

(3) 『生誕100年・繋がる 富岡惣一郎の世界・展 VI』 ギャラリー葵・楽庵

3月26日（土）から6月19日（日）まで。

本年2022年は、トミオカホワイトで知られ、世界的に活躍された洋画家富岡惣一郎（高田・南本町生れ）の生誕100年の年です。

富岡画伯は、雪の白に魅了されて、白の世界を描く為に黄変・亀裂・剥離しない白絵の具『トミオカホワイト』を自ら創出。筆を使わず、パレットナイフと独自の技法「削り・すり込み技法」によりトミオカの世界を作りました。

ヘリコプターやセスナ機で、バーズアイで空からも取材し、作品は、引き算の美・俳句的とも称賛されています。1994年に72歳で永眠。

大作を中心に作品数は多いが、上越市には市役所に壁画があるものの、他には画伯の作品は殆どないとされる。

ギャラリー葵・楽庵での展示は、2017年の第1回に始まり、今回で6回目です。

ギャラリー葵・楽庵：上越市三和区川浦406-3 TEL025-512-6222/090-2649-0764（飯野）

（営業時間は事前にお電話で問い合わせください）

いにしえ上越 ～上越地域の歴史を紹介します。

ふるさとの上越には、縄文時代から続く我々がご先祖様たちの営々とした歴史があり、多様性に富んでいます。

此度は、妙高市教育委員会学芸員の佐藤慎（まこと）氏に、斐太の鮫ヶ尾城についてご寄稿いただきました。春には見事なカタクリの群生が見られる斐太の里は、弥生式住居跡や古墳群、それに県内最多の216もの兼務神社祭礼を行う斐太神社があります。佐藤学芸員は、その斐太の文化財を研究されている専門家です。専門家の目を通じて、川中島の戦いや鮫ヶ尾城についての再発見を2回にわたりお届けします。

上杉謙信公と鮫ヶ尾城

妙高市教育委員会

佐藤 慎

川中島合戦

上越市を代表する偉人として親しまれている上杉謙信公。その謙信公を今もなお全国的に有名にしている歴史上の出来事が、武田信玄との一騎討ちの場面で知られる川中島の合戦です。（写真1）

天文22年（1553）、謙信公は信玄の信濃侵攻によって領地を追われた武将たちを救援する目的で川中島に出陣し、武田軍と対峙しました。これが「義戦」として語られる川中島合戦の始まりです。（写真1）古戦場に建つ一騎討ちの銅像



以後、信玄とは永禄7年（1564）までの間に4回の合戦を行い

ますが（合戦の数え方には諸説があります。）、信玄が越後侵略の足掛かりとして信濃平定を目指したのに対して、謙信公は北信濃の武将の旧領奪還のため、そして、朝廷や幕府を中心とした政治秩序を乱す信玄を討伐するために、川中島に出陣したのでした。

この合戦には明確な勝者はなく、両軍痛み分けのような印象で語られていますが、度重なる合戦を通して着実に領地を拡大していったのは信玄の方でした。

春日山から信越国境までの距離は直線で 30 km ほどしかありませんので、国境の手前まで進攻してきた武田軍は、越後の安全保障を考える上で大きな脅威となりました。

そのため、謙信公は国境の先にある野尻（長野県信濃町）と飯山（同飯山市）に上杉軍の前線基地を整備するとともに、越後国内の主要な城の軍備増強を進め、現実味を帯びてきた武田軍による越後侵攻に備えました。



(写真 2) 鮫ヶ尾城跡の遠景

この頃に謙信公が国境地域の警固や高田平野の防衛のために特に力を入れて整備した城が、これから紹介する鮫ヶ尾城です。(写真 2)

軍配をかざす信玄に向かって馬上から大刀を振り下ろす謙信公。

多くの国民が想起するこの勇壮な姿は、義の戦いに全身全霊をささげた謙信公の姿であると同時に、信越の国境地域を何としても死守しなければならないという覚悟に満ちた謙信公の姿でもあったのです。

上杉家の鮫ヶ尾城

鮫ヶ尾城は春日山城の南方約 9 km、高田平野を一望する標高約 185 m の丘陵部に築かれています(写真 3)。

当時の城は、有事の際に立て籠もるための要害の部分と、平時の活動拠点となる居館の部分から成り立っていましたが、現在は認知しやすい要害の部分だけを山城として文化財指定することが多く、鮫ヶ尾城においても丘陵部を複雑に加工した約 22 万㎡の山城部分のみが「鮫ヶ尾城跡」として指定・整備されています。

山城の麓には、鮫ヶ尾城の鬼門鎮守として謙信公から篤く崇敬されたという延喜式内斐太神社や、鮫ヶ尾城将が居館を構える際に寺の境内を提供したという勝福寺などが、戦国時代の当地の歴史を今に伝える名所・旧跡として残っています。

当時の文献に鮫ヶ尾城将として登場する堀江宗親（ほりえむねちか）については、川中島合戦の頃に軍事的緊張が極度に高まっていた北信濃において、謙信公の命を受けて武田軍の動向を監視していることがわかるため、偵察役を任せることができる忠実な家臣、すなわち旗本の一人であったと考えられています。

堀江氏が旗本であったということは、堀江氏は城主ではなく、主君の城を管理する代官（城代）であったということになるため、鮫ヶ尾城は謙信公に味方する自立した領主層の城ではなく、上杉家が直営で築城した城、すなわち謙信公ゆかりの城であったことになります。



(写真 3) 鮫ヶ尾城跡の本丸跡

(以下、次号「謙信公が生きた時代の築城技術を伝える鮫ヶ尾城、続日本 100 名城の一つに」に続く)

訃報 当会元理事 柴田長俊様には、令和 4 年 1 月 28 日、ご永眠されました。享年 72 歳。ここに当会を代表して、ご生前のご指導ご支援に深く感謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。 ふるさと上越ネットワーク会長 伊藤 利彦

柴田長俊画伯の作品は、上越物産センターはじめ市内に展示されていますが、上越妙高駅東口では、大作「High Moom」とその前の通路両端のステンドグラスがご覧いただけます。

ブログ ～七転び 八起の末の ホンダラダ～ <https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194> もぜひご覧ください。

◇ 3/16(水) 七人の侍～流浪の落語勉強会～(お江戸日本橋亭)
午後1時～3時半ごろ、1500円。鯉橋ほか。
お問合せ：022-796-0873(花座)

◇ 3/21(月・祝)～30(水) 新宿末廣亭・夜の部 =鯉橋主任興行=
時 間：午後4時半～8時半(午後7時15分入場終了)
木戸銭：3000円(65才以上2700円)
主 任：鯉橋 ほかに柳橋、ねづっちなど出演。
お問合せ：03-3351-2974(末廣亭)
※ 26(土)は鯉橋休演の可能性有り。

◇ 3/26(土) 高田世界館にて「鯉橋独演会」
午後1時半開演、2500円(前売2000円、高校生以下1500円。
小学生以下保護者同伴で無料)
お問合せ：025-520-7626(高田世界館)

◇ 3/27(日) 鯉橋の落語でひとやすみ(第36回)
時 間：午後4時～5時半 お問合せ：080-5544-9241(オビ)

◇ 4/1(金)～5(火) 浅草演芸ホール・昼の部
お問合せ：03-3841-6545(浅草演芸ホール)

皆様、どうぞお気をつけてお過ごしください。瀧川鯉橋拝

上越産品販売のお知らせ

● Jネットふるさと市場として「取次販売商品一覧」を同封します。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧(A3版1枚)を同封にてお届けします。会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

● 上越特産市場

上越市運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。「上越特産市場 <https://www.joetsu-tokusan.jp/login/input.php>」からご覧いただき、お申込み下さい。

● 新潟・上越妙高「うまさ直送!雪国マルシェ」

恒例の上越特産品販売の「雪国マルシェ」は下記にて予定しています。

日時 3月26日(土)、同27日(日)、
4月23日(土)、同24日(日)

会場 有楽町交通会館1F。開業時間 11:30-17:30

● 常設店舗「雪国商店」 場所 有楽町交通会館1F

営業時間 11:00-19:00 年中無休(年末年始は休業)

雪国商店では、少しでもふるさとへ帰った気分を味わっていただくよう、品揃えをしてお待ちしております。ネットで「雪国商店」を検索してご覧ください。

♪お問合せ：JCV東京情報センター 03(5218)7730

会員ひろば

雁木は私のふるさと

清水史枝 (中野区在住、北本町出身)

18歳で進学のため上京して、そのまま就職、結婚。上越を離れて約45年になります。

コロナ禍で回数は激減しましたが、施設入所中の90歳の母に代わり、実家の用事でたびたび上越に戻ります。私は車の運転ができないので、上越での交通手段はもっぱら自転車です。

今も子供時代と変わりなく、北本町の家から一人で行けるのは、一番遠くて母校の高田高校でしょうか。雨や雪が降ったら歩くしかありません。

昨年末に行ったときの事です。上越妙高駅でバスに乗り本町2丁目で下車。高校時代の友人の建築士の息子さんが購入した古い町家を見せてもらいます。

高い吹抜けに何本もの太い梁、奥まで続く土間、急な階段を上った2階には渡り廊下。子供の頃遊んだ友達の家そのまま、なんとも懐かしい。それなのにWiFi完備。まだ改修工事中でしたが、完成したら事務所や憩いの場として貸出しをするということなので、ZOOM会議に貸してねと伝えた後、隣の日本一美味しいパン屋リスドールで夕食確保。そのまま雁木通りを進み、お馴染みの店員さんと目が合ったらその店を素通りすることはできません。

少しずつ荷物が増えていき、次はくろかわ呉服店で同級生の店主といつもの情報交換。その隣の遊心堂では絵画の親子展開催中。その「親子」とはさっきの町家の持ち主のお爺様と父上です。会場にいた友人とお喋りして蜜柑をもらいました。

実家の前では隣のおばさんの介護の苦勞話を聞いて野菜をもらい、結局この日は駅から家まで半日かかり、荷物は倍になりました。

以前、お土産や薬局の支払いにお金が足りなくなったことがありました。カード類を東京に忘れたので困っていると、目の前に止まった車から幼馴染の男性が「なにしてんだね」と声をかけてくれました。顔を見るなり「1万円貸して！」と叫ぶ私に、驚きもせず財布を出してくれて事なきを得ました。いい歳の大人が久しぶりに会った人になんとも無礼なことでしたが、正に天の助けでした。

私の行動範囲は高田の雁木の中で完結します。そこは今も優しく温かい人たちが迎えてくれる私のふるさとです。

高田に住んで 30 年

富田 晃（高田本町3丁目 在住）

私は、上越市の隣の柏崎市北条という所で68年前に生まれ、18年間、そこで育ちました。その後、関東の大学を出て、D社という化学会社に入社し、42年間、勤務させて頂きました。今から30年前の1992年に、高田の本町3丁目に居を構え、現在に至っています。昨年1月から完全にフリーの身となりましたが、一昨年の4月より、家内の紹介もあって、高田区地域協議会のメンバーに応募し、採用され、活動を行っています。

上越市は平成の大合併と言われた時期（2005年）に、14市町村が合併し、それを機にそれぞれの地域の特性をいかした「自主自立のまちづくり」の実現に向けた仕組みの一つに地域協議会が発足しました。（地域毎に28の地域協議会があり、総勢382名）地域協議会の役割は、地域の課題や地域の活性化などについて、より良い解決策を導き出す為に話し合い、その話し合いの結果をもとに、地域団体等との連携・調整を行う他、市長に意見として伝えることです。

地域協議会の役割を少しでも果たすためには、まず高田区の現状を知らなければと思い、昨年1月より種々の活動に参加してきました。主なものを紹介すると、①すこやかサロン（高齢者の介護予防を目的とした活動）のお手伝い、②公民館講座への参加、③民間団体が主催する講座への参加、④地域協議会への参加（活動支援事業の見学、分科会の活動等）、⑤民間団体による市民大学講座（地域協議会班、地域の魅力盛り上げ班、社会教育班）の参加、⑥謙信公武道館でのウエートトレーニング等。私が参加したのは、高田区で行っている種々の活動のほんの一部にすぎませんが、行政及び民間団体等が高齢者の為の活動を盛んに行っている事に驚きました。定年後の第二の人生をどのように過ごすかと検討している人はぜひ体験される事をお勧めします。

やりたいことが見つかって、住む家がなければ無理と思っておられる方は、次の高田区の再発見をおよみ下さい。

『高田区の再発見』

高田の町なかは、雪国の生活の知恵である歩行者のための「雁木」付の町家が連なり、城下町の景観を残しているのが特長でしたが、近年、その町家が空き家となり、更には次々と姿を消しているのが現状です。

そこで、上越市は15年程前から、「高田中心市街地の再生の一体的取組み」と称して、種々の活動を市民と行政の協働で活動を展開してきています。その中で、この5年間において、若者が中心となって、町家をリノベーションして、カフェやレストランといった飲食店、民泊、オフィスなど次々と町家が新しい姿に生まれ変わっています。一般市民の若者女性陣と行政が協働して、町家をリノベーションしたお店を紹介するパンフレットを作成しました。



パンフレットは上記のQRコードよりご覧いただけます。

●富田会員より、町家見学会のご案内もありました。

4月2日(土)、4月9日(土) (2時間程度/回。同じ内容で2回実施)

詳細は、様々な状況を勘案し決定されるそうです。

Jネット事務局までお問合せください。



「上越市を語ろう」－皆様の手で上越市の魅力を発信

上越応援団たる会員の皆様にお願ひです。

当会HPでも会員以外の閲覧も多く、上越に関心や興味をお持ちの方は大勢おられます。ところが、上越は意外と知られていないのが現実です。

上越線の走る上越との混同もしばしば、ましてや、当上越市の面積が東京23区の1.5倍、上越・北陸の両新幹線が利用でき、東京から2時間の距離であること、歴史と豊かな文化、海と山に恵まれ、食事やお酒がとびっきり旨いことなどは、あまり知られていません。これでは、観光や産業の誘致、移住のお勧めもできません。

そこで、上越応援団たる会員の皆様にお願ひです。広宣の最も強力な手段「口コミ」を活用し、リモートを含むお集まりの際には、ひと言、上越についてふれていただき、上越の宣伝をしていただきたいのです。ふるさとのためによりしくお願ひいたします。

●●●●●●●●●● ネットからのお知らせとお願ひ ●●●●●●●●●●

ふるさとの懐かしい味をご紹介ください。

お正月のゼンマイ入りのお雑煮、炬燵に入っていたたく冬の水ようかん、上越にしかない懐かしい味です。春にはタケノコ汁ですね。鮭缶を入れるのか、いや鯖缶か……。あなたの思い出に残るふるさとのごちそうを400字/件にまとめて是非ご紹介ください。材料やレシピがあればぜひ添えてご紹介ください。



記事、寄稿、投稿、メッセージをお願ひします。

会員の皆様には、ぜひとも、ご自分の経験や思い出、上越の魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事（1,200字程度まで）と写真を送信いただければ幸いです。皆さまの貴重なお話は、読み手を元気にします。

送信先：k.miyazato@araip.co.jp

コロナ禍の折、皆様には、くれぐれもご健康にご留意され、お過ごしください。

◎次号「たより」は令和4年4月25日の発行です。